

5大学連携事業(北海道地域医療の新展開を目指して)

平成20～22年度:文部科学省支援事業:戦略的大学連携支援事業
23年度～:5大学独自予算で継続

地域医療貢献を目指した教育

北海道の地域医療の新展開を目指した
異分野大学院連携教育(修士課程)
(5大学連携)

連携大学:

札幌医科大学

室蘭工業大学

小樽商科大学

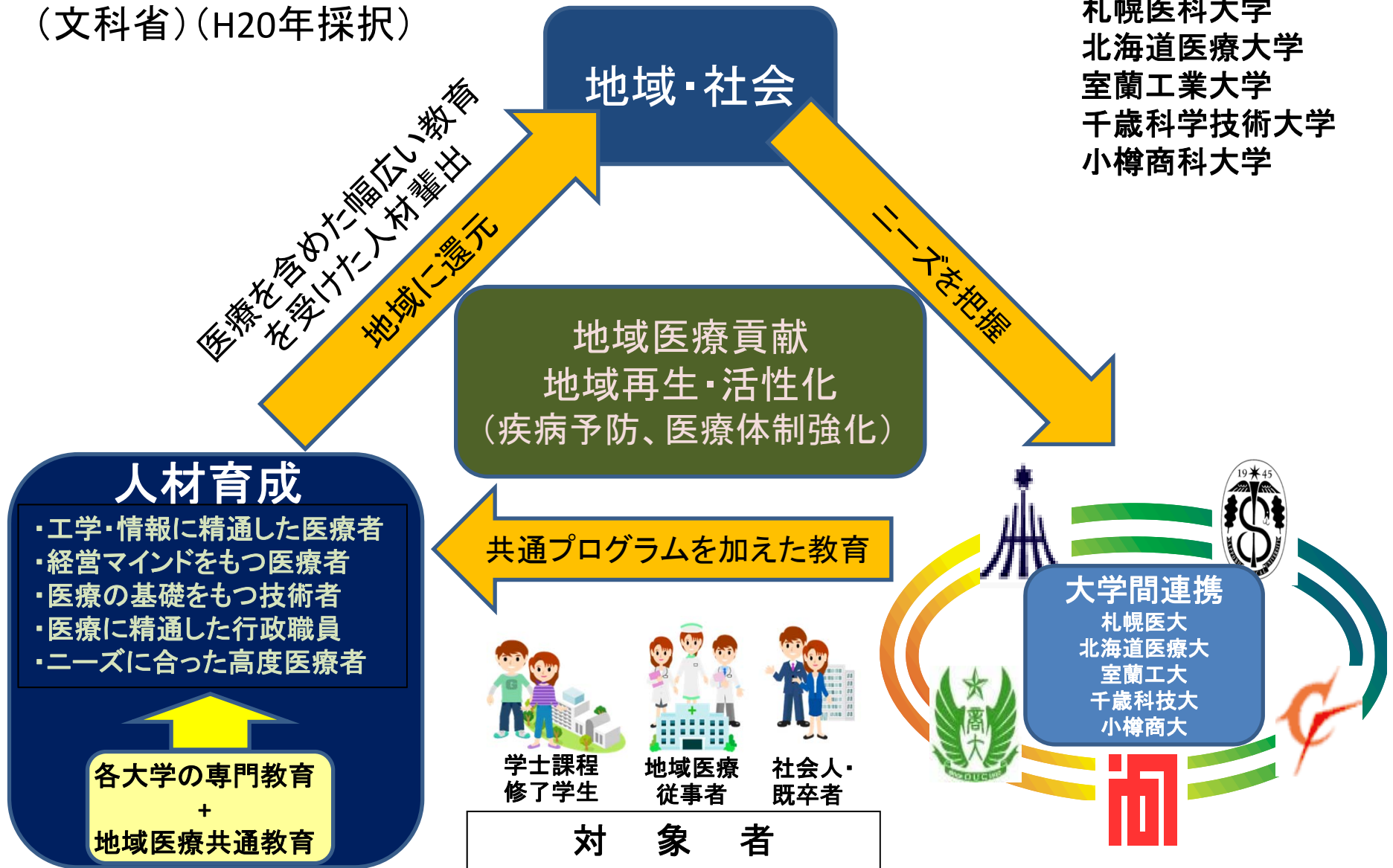
北海道医療大学

千歳科学技術大学

異分野大学院連携教育でさらに地域医療貢献を目指す

戦略的大学連携連支援事業 (5大学連携)
(文科省) (H20年採択)

＜連携大学＞
札幌医科大学
北海道医療大学
室蘭工業大学
千歳科学技術大学
小樽商科大学

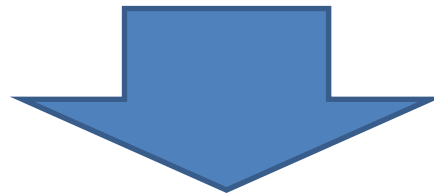


異分野大学院連携(5大学連携)教育取組の背景と期待

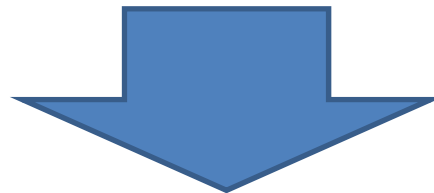
地域医療の課題：医療者の絶対数不足

課題解決の1つ：医療者育成して数を増やす

それだけで解決できるのか？



教育・研究の場としての魅力ある地域づくり
→学生・研究者・職業人の関心を高める



地域貢献

5大学連携の 目指すところ

北海道新聞掲載

医学、工学、情報、経営 道内5大学連携

地域医療担う人材育成

5大学の連携事業は2018年度後半に文科省の「戦略的連携支援事業」に採択されてスタート。各大学間で協議を進めながら準備を進めてきた。

こうした取り組みの背景には、道内の地域医療の現状がある。

札幌大で事業の実務責任者を務める医療人育成センター教育開発研究部門の相馬仁教授は「地域医療の現場では医療や医療機器、医療経験などに精通した人材が不足し、医師らの負担が過大となっている」と指摘する。

それぞれの専門性を活かす5大学が連携し、工学、情報分野に精通した医療者（医師、看護師ら）や

来年度から共通プログラム

背景に過大な医師負担

小樽商大、千歳科学技術大、室蘭工大、道庁大、札幌医大の道内5大学が連携し、北海道の地域医療に求められる人材を養成する取り組みを進めている。大学院修士課程の学生に向けた共通プログラムが来年度から始まるのを前に、事業内容を広く伝える公開シンポジウムが6日、札幌で開催される。

(西村 暁)

医療の基礎知識を持つ技術者、経営マインドを持つ医療者、医療に精通した行政職員ら、地域医療に貢献できる人材を育成。地域の医療者をサポートできる人材を育成。地域医療の厳しい環境を変えられ、希望者に教育を開始。学牛は、医療の基礎をほじめ、医療工学や、電子力

環境の改善で、地域で働く医療者の増加、地域医療の充実に伴う地域の活性化も期待できる。

来年度からは5大学の修士課程の学生のうち、希望者に教育を開始。学牛は、医療の基礎をほじめ、医療工学や、電子力

連携する5大学はそれぞれ離れた場所にあるため、情報通信技術を活用し、ネットを通じた専用の教材を配信し、学生が、いつでもどこでもパソコン上で受講できるようにする。

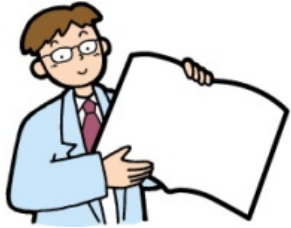
将来は地域の医療関係者にも門戸を広げる方針。さらに計画では5大学の共同大学院設立も目指している。

課題：地域医療の疲弊

- <解決策>
- 地域の医療者のサポート (医療に関わる異分野の人材育成)

- <教育の目指すところ>
- 地域で働く医療者、患者とその家族等とコミュニケーションがとれる人材養成
- 地域医療貢献のための研究開発ができる人材育成

将来への期待



5大学連携事業

医療・福祉への志を持つ異分野の学生の活躍で

期待され
ること

- 科学的根拠に基づく、今までにない新しい医療・福祉の方法の提案
- 道内他の地域への波及

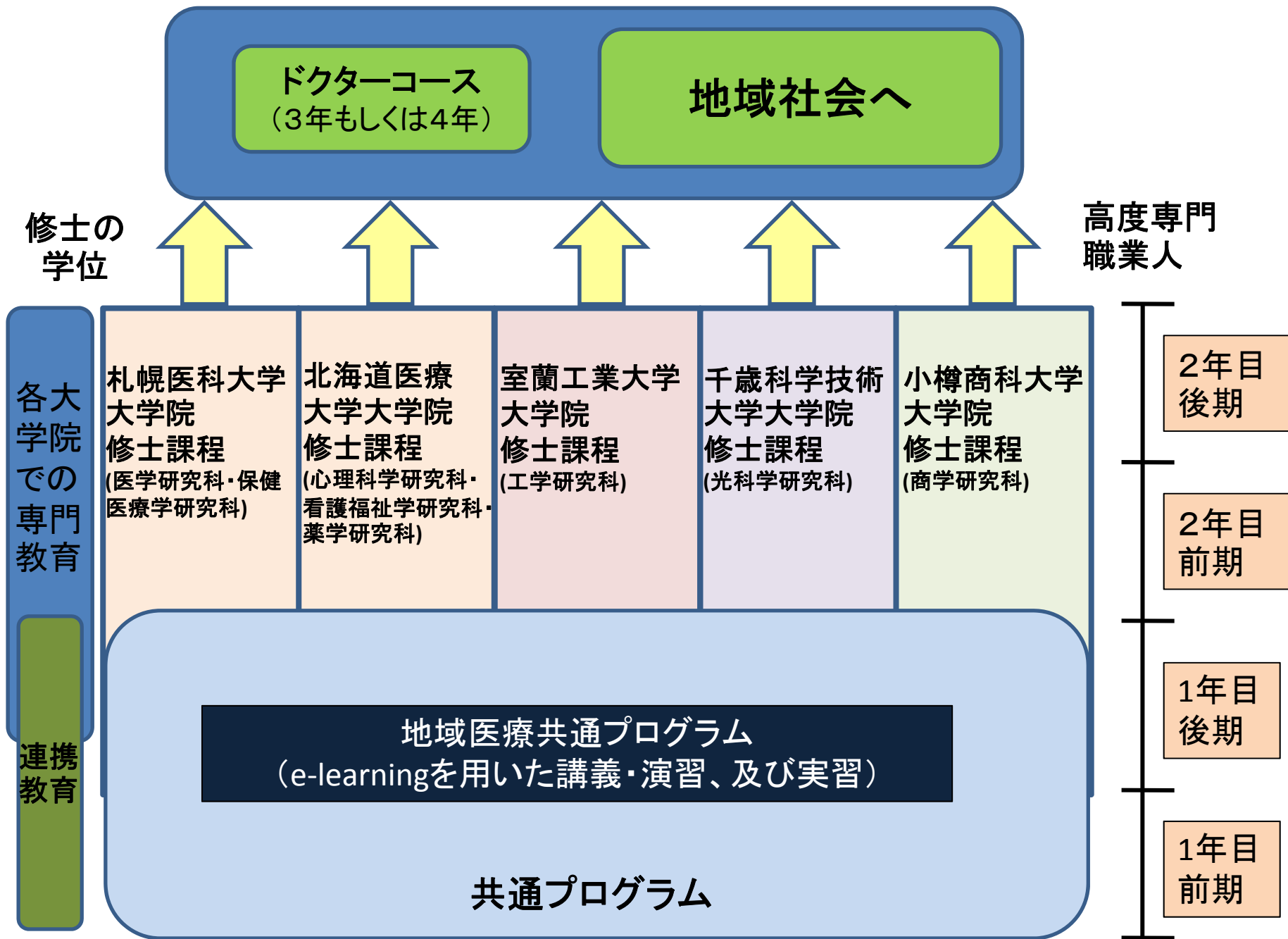
5大学連携共通科目一覧

科目責任大学	授業科目名	開講時期	単位
札幌医科大学	基礎医学概論Ⅰ	前期・後期	2
	基礎医学概論Ⅱ	後期	2
	基礎医学概論実習	前期	1
室蘭工業大学	生命情報学特論	前期	2
	医用機械構成学特論	後期	2
小樽商科大学	地域医療経営の基礎論	前期・後期	2
北海道医療大学	フィジカルアセスメント特論	前期	2
	国際保健学特論	後期	2
千歳科学技術大学	情報技術特論	前期	2
	医療情報特論	後期	2



5大学連携教育を受ける学生の期待される将来像

5大学連携共通プログラムを加えた大学院修士過程教育（平成22年度開始）



グループ討論のテーマ

<案>

- 今年1年のまとめ:本教育から得たこと
- 学習したことを今後、活かすことが可能か、どのように活かしたいか
- 教育プログラムについて、要望や提案

など自由に(45分間)



院生の発表と全体討論(15分間)